

● 農 林 水 産 部

「メールde食育」標語コンテストを開催

去る1月31日(火)、おきでんふれあいホールにて、内閣府沖縄総合事務局主催「メールde食育」標語コンテストの表彰式が行われました。

「メールde食育標語コンテスト」は、昨年12月16日から本年1月17日までの1ヶ月間にわたり「食を考える月間(毎年1月)」にちなんで、「食」に関する標語を広く募集したもので、県内から983作品(応募者数597名)の応募がありました。選考の結果、内閣府沖縄総合事務局長賞(2点)、コープおきなわ理事長賞(2点)、佳作(2点)に以下の作品が選ばれました。また、本標語コンテストの趣旨に賛同し、協力して頂いた以下の学校(2校)に感謝状が贈られました。

【内閣府沖縄総合事務局長賞】●小学生の部「楽しい食事で心も体もポッカポカ」糸満市立糸満南小学校3年 立川あかりさん ●中学生以上の部「健康も家族そろっていただきます」那覇市立石嶺中学校1年上間唯香さん【コープおきなわ理事長賞】●小学生の部「楽しい会話おいしいごはんいただきます」本部町立立崎本部小学校6年 金城和泉さん ●中学生以上の部「おいしいね言葉でつなぐあたたかさ」那覇市立石嶺中学校教諭 内田篤さん【佳作】●小学生の部「タご飯みんな食べたりにぎやかレストラン」那覇市立天妃小学校6年大城瑠唯さん ●中学生以上の部「色取りや素材見極め正しい食事」沖縄県立宜野湾高等学校1年上原麻衣里さん【感謝状】●小学生の部 嘉手納町立屋良小学校●中学生以上の部 与那原町立与那原中学校



局の動き

● 財 務 部

財務行政モニター会議を開催

財務部では、2月14日、那覇市内において「第21回財務行政モニター会議」を開催しました。この会議は、財務省及び金融庁の施策を中心としたテーマについて、財務行政モニターから意見や提言等をいただくことを主な目的として毎年開催しています。

今回は、財務省の財政制度等審議会答申「今後の国有財産の制度及び管理処分のあり方について―効率性重視に向けた改革―」をテーマに開催しました。

県内各界各層から構成された5名のモニターからは、「答申に基づき財務省が進める国有財産行政の改革」、「現在行われている国有財産の情報提供に対する改善すべき点」、「国有財産の管理処分が効率的に行われているかどうかについて、国民に情報を積極的に提供する際の具体的な方策」、「沖縄総合事務局財務部が行っている売却促進に向けた具体的な方策」などについて、様々な意見・提言等が出されました。

モニターの方々が日頃感じている国有財産の管理・処分等の施策に対して、多種多様の意見をいただき、非常に有意義な会議となりました。モニターからいただいた意見・提言等については、財務省に報告し、今後の国有財産に係る施策等に活用されることとなります。



● 運 輸 部

台湾で沖縄観光をPR

沖縄総合事務局と沖縄県、沖縄観光コンベンションビューローが連携して2月9日から台北市を中心に「ビジット・沖縄・キャンペーン台湾」を実施しました。

最近、沖縄への台湾観光客がピーク時の半分に減り続けており、この現状を打破するため大がかりなキャンペーンを実施することにしました。2月9日、台北市で観光関係機関、航空会社、旅行社等へ沖縄観光の魅力を紹介するため沖縄観光感謝のタペ&沖縄観光セミナーを開催しました。

当日は、約300人の関係者が訪れ、最新の沖縄観光の情報紹介や意見交換を行いました。翌日は、台湾の観光関係機関、航空会社等を表敬訪問し、沖縄への送客拡大のための要請を行いました。

プロモーションとしては、市内のデパートで沖縄物産展を開き、イベント広場ではエイサーや民謡で沖縄を紹介しました。

また、2月10日～3月末まで、台北市内のバス50台に沖縄を紹介する車体広告を掲載するほか、新聞・雑誌等による広告で沖縄をPRします。



● 経 済 産 業 部

デザインセミナーを開催

経済産業部では、沖縄において成長が期待される産業分野を対象とした産業クラスター計画「OKINAWA型産業振興プロジェクト」を推進しているところですが、その対象分野の一つである加工交易型産業分野に関わる企業、大学、行政の関係者が一堂に会し、情報共有・交換を目的とした、デザインセミナーを去る1月25日(水)那覇市内で開催しました。

今日のように消費者ニーズが多様化・高度化し、ものが豊富に出回っている市場環境の下で消費者の求める売れるものづくりをするためには商品の機能性のみならず、デザイン性の高さが求められるなど、デザインはものづくりや経営戦略の全般に係わる重要な要素となっております。

本セミナーでは、デザインを経営戦略にどう取り組むかをテーマとして、グッドデザイン賞の審査員も務められる多摩美術大学生産デザイン学科助教授安次富隆氏に「デザイナー活用による成功事例について」、また、沖縄県立芸術大学美術工芸学部デザイン工芸学科デザイン科講師中西利文氏には「ものづくりにおけるデザイナーの役割について」と題し、ご講演いただきました。

また、講演会終了後の交流会では、クラスター会員やデザイナーなど多数の参加の下、株式会社佐喜眞義肢、株式会社ジャパンアドバンステクノロジー、ボワゼット協同組合の製品を展示し、活発な意見交換が行われました。

